

# History 新野左馬助親矩

キラリを再発見

特別編

## 明治維新の偉人 関口隆吉

初代静岡県知事である関口隆吉は、御前崎市にとって大変ゆかりのある人物である。

この関口家は今川家の一門で、新野家と並ぶ家格の一族であった。関口家には刑部少輔氏純(親永)という人物がおり、彼の娘(築山殿)と徳川家康が結婚し、嫡子信康が生まれている。氏純は、永禄5年(1562年)に氏真に切腹を命じられるが、その子孫が与力として江戸幕府に仕えた。

隆吉の父隆船は、桜ヶ池の池宮神社宮司佐倉家の出身で、幕臣大草主膳の家臣である関口家に天保4年(1833年)婿入りし、幕府御持弓与力となった。隆吉は、次男として生まれ、嘉永5年(1852年)に家督を相続している。

隆吉は、明治になって徳川慶喜に従い駿府に移り、その後、月岡(現菊川市)に移住し、新番組300余人の士族を指導して牧之原の開拓を行った。月岡の洞月院には隆吉の顕彰碑があり、また、桜ヶ池の池宮神社には徳川慶喜の揮毫した扁額(御前崎市指定文化財)が伝えられている。

照会 社会教育課 ☎0537-8735



▲洞月院(菊川市加茂長池：関口隆吉の顕彰碑がある)



▲関口隆吉肖像画  
(池宮神社蔵：樽林靖男氏画)



▲関口隆吉の顕彰碑  
(明治25年1月建立)

大河ドラマ「おんな城主 直虎」  
応援プロジェクト

浜岡原子力発電所の訓練では、発電所の状態や放射線の外部への影響などの情報を収集するとともに、名古屋市内にある本店とテレビ会議システムを通じて、情報連携を確認しました。



▲本部運営訓練の様子(新緊急時対策所)

今回の訓練は、地震災害と原子力災害が同時に発生した場合にも、緊急事態対策組織が機能するかの確認や要員の判断能力向上を目的として中部電力(株)全社で実施されました。

訓練が実施された新緊急時対策所は、平成29年3月に建物部分が完成し、従来の建物と比べ耐震性や電源機能、放射線の遮へい性などが強化されています。

南海トラフ巨大地震や津波による原子力災害を想定した総合防災訓練が、12月7、8日に実施され、浜岡原子力発電所員約560人が参加しました。

水設備の操作訓練やホースブリッジの設置訓練、放射線モニタリングに用いるマルチコプターの操作訓練などが実施されました。

# Atomic

暮らしと原子力

耐震構造の新緊急時対策所で  
原子力災害を想定した  
中部電力(株)の防災訓練